

『学校だより』令和5年度12月号

Escuela Japonesa de Panamá

パナマ日本人学校

TEL: 223-7782 FAX: 264-4751

E-mail:japonesa@panama.lolipop.jp

<http://panama.lolipop.jp/>

在籍数

小学部 11名

中学部 2名

合計 13名



アンバランスな身体と心の成長

校長 宗像 玲

8月の21日に始まり、学習発表会やエピスコパル校との交流、水泳大会など多くの行事を行いながら過ぎてきた2学期も残すところ2週間となりました。パナマ全土で広がった反政府抗議活動の影響でオンライン授業になったり、修学旅行が延期になったりする思わぬできごともありましたが、子どもたちはいろんなことを学び、少しずつ成長することができたのではないのでしょうか。日々の教育活動に深いご理解とご協力をいただいております保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

子どもたちの成長には「時間」が必要です。先日の水泳大会で、1学期まではあまり泳げなかったのに、50m種目に挑戦するほど成長している児童がいました。1学期の自分のタイムを更新するために頑張っ、一つの「壁」をようやく超え、ほんの数秒タイムを更新した児童もいました。水泳は身体の成長とも関連があり、同じ時間をかければ同じようにぐんぐん記録が伸びるという単純なものではないようです。

先日2年生の道徳の授業を参観しました。「誰もいない教室で友だちが花びんを割ったところを目撃したらどうするか」ということを考えていました。自分が花びんを割ったらすぐに「ごめんなさい」と素直にあやまると答えた子どもたちも、「友だち」のこととなると、子どもなりにいろいろな葛藤が生じるようです。しばらくすると、やはり先生に言うべきだ、という意見が出ました。理由は「その花びんは価値がある物だから」「その花びんは公共の物だから」という正義感からの発言でした。ところがしばらくすると、「ここで友だちが反省しないと、友だちのためにならない」という理由に変わっていきました。担任の先生がそのようなレールを敷いていたわけでもないのに、判断基準が「物」から「友だちのことを思う心」へと変わったのです。たった45分の授業の中で、子どもたちが成長する場に立ち会えた瞬間だと思いました。

子どもたちの生活を見ていると、様々な場面で成長を感じます。一方で、頭の中でわかっている行動に結びついていない事があったり、逆に身体の成長に心の成長がついてこないことを感じたりする場面もあります。そんなアンバランスな成長期の子どもたちが集まっているのが「学校」であり、その子どもたちが日々の授業や行事の取り組みを通して、切磋琢磨し成長できる場が「学校」だと考えています。

引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

12・1月の主な行事



国際ロボットコンテスト 「WRO 2023 パナマ国際大会」

科学技術にふれたり、日本チームを応援したりしました。



水泳大会

応援ありがとうございました



冬季休業・年末年始休業について

- ・冬季休業 12月16日～1月4日
※屋根改修工事のため学校開放、図書の貸し出しはありません。
- ・年末年始休業 12月29日～1月3日
※年末年始休業は閉校となります。

ご参観ください